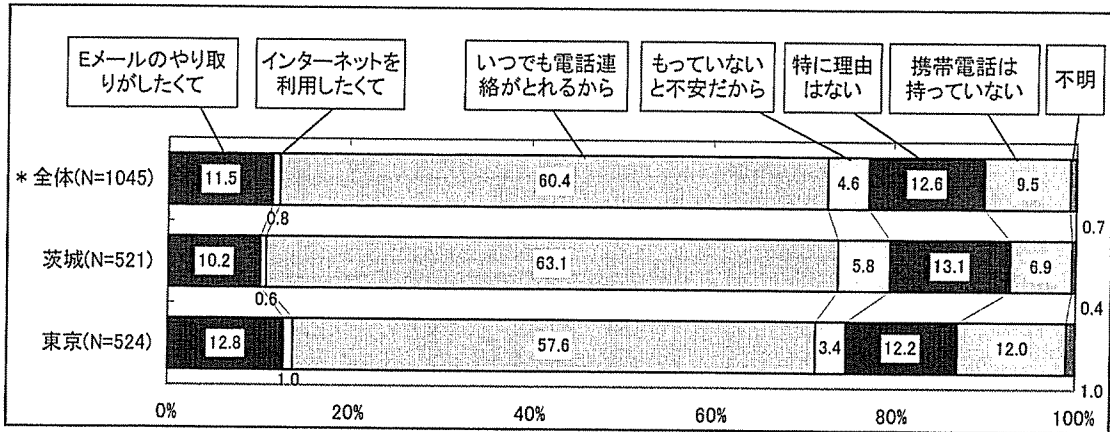


(2) 携帯電話の使用

①利用の実態

(図表 11) 携帯電話所有の契機



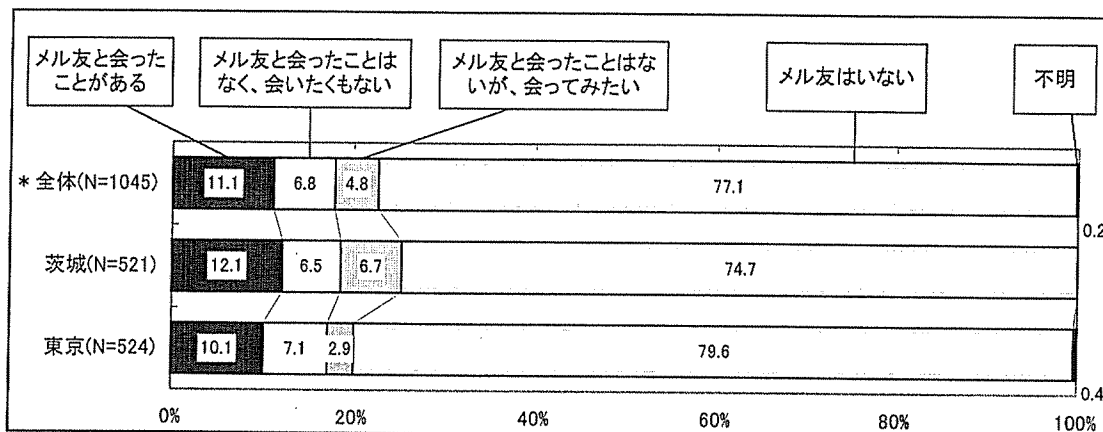
(図表 12) 携帯電話所有の契機別親による防犯指導

	帰宅時間	繁華街	金銭貸借	外出服装	インターネット	携帯電話	注意なし	不明	総計
Eメール	45.0%	11.7%	12.5%	0.0%	0.8%	2.5%	27.5%	0.0%	100.0%
インターネット	50.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	0.0%	100.0%
電話連絡	42.9%	6.3%	14.8%	1.4%	1.6%	2.7%	29.7%	0.6%	100.0%
不安	50.0%	2.1%	16.7%	2.1%	2.1%	0.0%	27.1%	0.0%	100.0%
理由なし	28.0%	5.3%	13.6%	0.0%	0.8%	1.5%	50.8%	0.0%	100.0%
不保持	36.4%	9.1%	15.2%	1.0%	2.0%	0.0%	35.4%	1.0%	100.0%
不明	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	100.0%
総計	41.1%	6.8%	14.4%	1.1%	1.5%	2.1%	32.4%	0.6%	100.0%

特に理由もなく携帯電話を持つことになった高校生の過半数が親から何の注意も受けていない。携帯電話保持の目的意識の低さと防犯意識の低さがつながるとすれば、この層が被害に遭う可能性も高くなると思われる。

②メル友との関係

(図表 13) メル友との関係



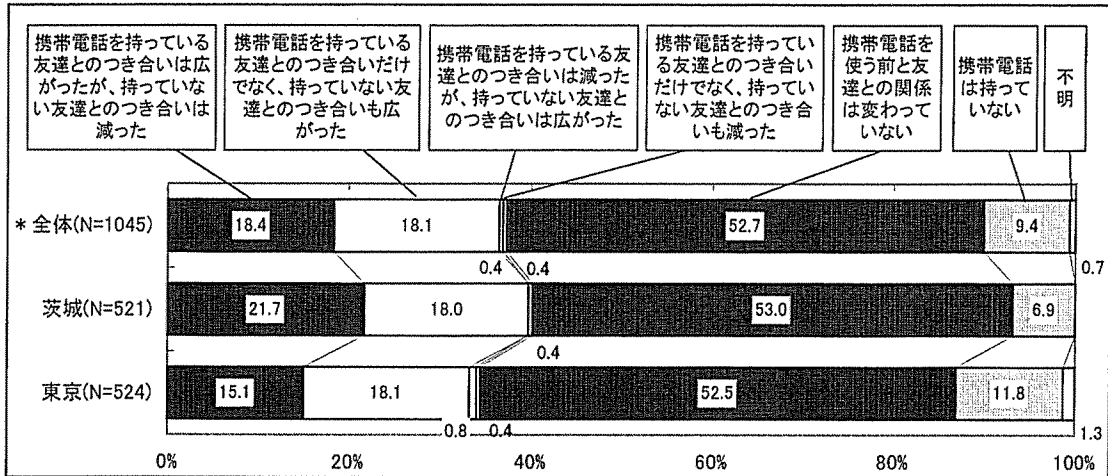
(図表 14) メル友との関係別携帯電話を利用した犯罪の回避策

	不特定電話	番号告知	ネット発信	その他	ない	不保持	不明	総計
会った	12.1%	15.5%	25.0%	16.4%	25.9%	5.2%	0.0%	100.0%
会いたくない	7.0%	21.1%	36.6%	8.5%	25.4%	1.4%	0.0%	100.0%
会いたい	10.0%	18.0%	32.0%	14.0%	20.0%	6.0%	0.0%	100.0%
いない	10.3%	15.6%	27.8%	9.2%	25.8%	11.0%	0.2%	100.0%
不明	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
総計	10.2%	16.1%	28.3%	10.1%	25.6%	9.5%	0.2%	100.0%

「メル友と会ったことはなく、会いたくない」という高校生が、それ以外の高校生に比べて、「むやみに自分の電話番号を教えない」（番号告知）と「むやみに個人情報（住所や電話番号など）をインターネットに発信しない」（ネット発信）の割合が高く、発信に関して慎重である様子がうかがえる。したがって、この層が最も犯罪の被害に遭いにくいといえよう。

③携帯電話入手後の友達との関係

(図表 15) 携帯電話入手後の友人との関係



(図表 16) 携帯電話入手後の友人との関係別高校生同士での逸脱行為の防止

	注意	示唆	祈願	放置	先生伝達	親伝達	無関心	不明	総計
保持で広、 不保持で減	35.4%	27.6%	6.8%	22.4%	0.0%	0.0%	6.8%	1.0%	100.0%
保持でも 不保持でも広	48.7%	19.6%	9.0%	15.3%	0.5%	0.5%	5.8%	0.5%	100.0%
保持で減、 不保持で広	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保持でも 不保持でも減	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%
不変	38.8%	25.2%	10.2%	18.9%	0.2%	0.0%	6.0%	0.7%	100.0%
不保持	30.6%	26.5%	12.2%	22.4%	1.0%	1.0%	6.1%	0.0%	100.0%
不明	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	100.0%
総計	38.9%	24.9%	9.6%	18.9%	0.4%	0.2%	6.5%	0.7%	100.0%

「携帯電話を持っている友達とのつき合いは減ったが、持っていない友達とのつき合いは広がった」と「携帯電話を持っている友達とのつき合いだけでなく、持っていない友達とのつき合いも減った」については、回答者の絶対数が少ないので、参考にはならないので、他のグループに注目する。

「携帯電話を持っている友達とのつき合いは広がったが、持っていない友達とのつき合いは減った」と答えた高校生は、総計（平均的高校生）に比べて、「やめ

た方がよいと直接注意する」(注意)の割合が低く、「やめる、やめないは本人の自由なので、放っておく」(放置)の割合が高い。逆に、「携帯電話を持っている友達との付き合いだけでなく、持っていない友達との付き合いも広がった」と答えた高校生は、総計(平均的高校生)に比べて、「やめた方がよいと直接注意する」(注意)の割合が高く、「やめる、やめないは本人の自由なので、放っておく」(放置)の割合が低い。したがって、携帯電話の友人関係に及ぼす影響によって、友人の逸脱行動への対応の仕方が異なるのであり、携帯電話と逸脱行動への対応が直接的に結び付いているのではないといえる。